

天文教育 7

2010

Japanese Society for Education and Popularization of Astronomy



<速報> 皆既日食

<連載> 最新宇宙誌 / 恒星天文学の源流 /

天文ソフトの活用

天文教育普及研究会

本誌原稿募集のお知らせ

編集部では下記の原稿を募集しております。会員の皆様からの活発なご投稿をお待ちしております。

1. **原著論文**：天文教育・普及について、オリジナル性があり考察が優れ、学術論文として主要内容が印刷発表されていないもの。表題、アブストラクトには英文も付けてください。
2. **解説記事**：天文学や天文教育・普及に関する解説・紹介記事。分量は刷り上がりで6～10ページ程度。
3. **各種の報告など**：支部会やワーキンググループの活動報告、各種のイベントの報告、また天文教育・普及に関する授業の実践例など。分量は刷り上がりで2～4ページ程度。
4. **書評**：天文学や天文教育・普及に関する書籍の紹介。分量は刷り上がりで1ページ程度。
5. **会員の声**：会員の皆様からのご意見・ご感想など。分量は刷り上がりで1ページ程度。
6. **表紙の写真**：タイトルと400字以内の「表紙の言葉」とともにご投稿ください（写真のみでも構いません）。
7. **情報コーナー（各種会合・イベントの告知など）**：支部会やワーキンググループの会合、また天文学に関する各種の会合・イベントなどの情報。分量は任意ですが、スペースの関係で適宜省略させていただく場合があります。会合・イベントの開催日と会誌の発行日（奇数月下旬）にご留意ください。

・**締め切り**は1～3は原則として奇数月末日、4～7は偶数月15日。投稿先は post@tenkyo.net です。

・**広告掲載**を希望される方は事務局 (jimu@tenkyo.net) までお申込みください。掲載料はB5判1ページ ¥20,000-、半ページ ¥12,000-、1/4ページ ¥7,000-、チラシの折り込み ¥20,000-です。

※本誌に掲載された記事は、1年後以降に当会ホームページ (<http://tenkyo.net/>) にてpdfファイルの形で一般に公開することを予定しております。インターネットでの公開に差し障りのある場合はご投稿の際にその旨ご連絡ください。

【編集委員会からのお願い】

『天文教育』の編集は、すべて会員からなる編集委員によって行なわれています。ご投稿の際には以下の点についてご協力いただけますよう宜しくお願いいたします。

- ・原稿の投稿は、原則としてMicrosoft Wordファイルでお願いします。
- ・執筆用のテンプレートがホームページ (<http://tenkyo.net/>) からダウンロードできます。できるだけこのテンプレートをご利用くださるようお願いいたします（執筆上の留意点なども記しています）。
- ・十分に推敲を重ねた完全原稿でご提出ください。分量や内容によっては手直しいただく場合もあります。
- ・提出データは必ず各自でバックアップしておいてください。
- ・Word以外に一太郎ファイルやテキストファイルでも受け付けております。
- ・原稿のご投稿やご質問は電子メールにて、下記のアドレスへお願いいたします。

投稿先・質問先 メールアドレス：post@tenkyo.net, FAX：0566-26-2624

表紙の言葉

「はやぶさ」のキセキ

撮影日時：2010年6月13日

撮影場所：オーストラリア Glendambo

撮影機材：RICOH GR digital III F1.9 120秒開放

小惑星探査機はやぶさが、7年ぶりに地球に帰ってきた。

私にとってはじめての南半球、はじめてのオーストラリアは、暑くて寒くて赤い砂だらけの広い広い大地だった。観測地に選んだGlendamboは周りに何も無い。携帯の電波も通じない。今回がなければ、一生来ることなかっただろう。明るい天の川や大小マゼラン雲、南十字が輝く見慣れぬ夜空の一角、北西の空にはお馴染みの春の星座たち

も見えていた。

そんな中、はやぶさは、ほんとにきれいだった。光が一点見えたと思ったら、じわーっと明るくなって、そこから急激に空を走る。雲を照らし、光をまきちらしながら、やがて小さくなって消えていった。カプセルの小さな赤い点があとまで見えていた。最期にこんなにきれいな姿を見せてくれたはやぶさが誇らしくて、うれしかった。

今は地球の大气にまぎってしまって、そのうち私が息をしたら入ってくるかもしれないあとと密かに楽しみにしている。 (文：吉住千亜紀)

和歌山大学 宇宙教育研究所 撮影チーム